

河川と海域における水質濃度の推移

主要河川の COD 濃度及び BOD 濃度と、当該河川が流入する各湾灘の COD 濃度について、経年的な変化を整理した結果を以下に示す。

1. 対象海域

検討対象とした海域は、各湾灘に流入する COD 流入負荷量の全体に対し、河川経由の COD 流入負荷量が 5 割を超える湾灘とした。

$$\frac{\text{②各湾灘に対する河川経由の COD 流入負荷}}{\text{①各湾灘に対する COD 全流入負荷量}} \geq 5 \text{ 割}$$

その結果、東京湾、伊勢湾(三河湾を除く)、三河湾、大阪湾、紀伊水道(東部)、紀伊水道(西部)、播磨灘(北部)、備讃瀬戸(東部)、備讃瀬戸(西部)、伊予灘(東部)、伊予灘(西部)及び周防灘(西部)の 12 湾灘を対象とした。

2. 対象河川

検討対象とした河川は、1. の湾灘ごとに、COD 流入負荷量の多い順に河川を並べ、それらの流入負荷量合計が、河川経由の COD 全流入負荷量(1. の式中②)の 8 割を超える河川までとした。ただし、負荷量データが得られる河川の数が少ない湾灘では、積み上げた負荷量が河川経由の全流入負荷量の 8 割に満たない場合もある(紀伊水道(東部)、紀伊水道(西部)、周防灘(西部))。

3. 水質測定地点及び河川の平均水質

河川の水質測定地点は、海水の影響がない測定地点のうち最も下流域にある地点を対象とした。

各湾灘の河川平均水質は、それぞれの河川流量をもとに加重平均値として算定した。

出典

1. 河川 COD: 関係都府県における独自調査データ
2. 河川 BOD: 公共用水域水質測定結果
3. 海域 COD: 広域総合水質調査





